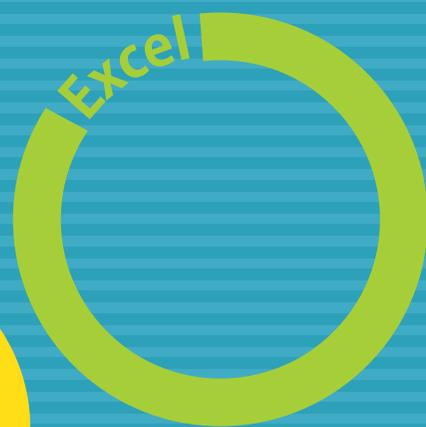
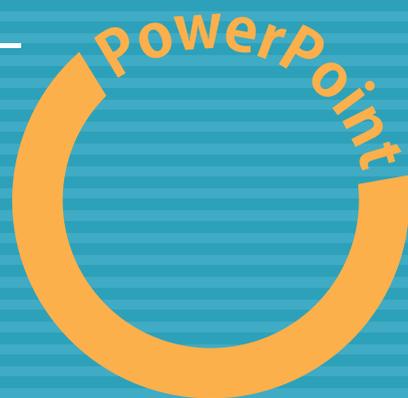


# イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と 情報モラル

Microsoft 365<sup>®</sup>・Office バージョンフリー



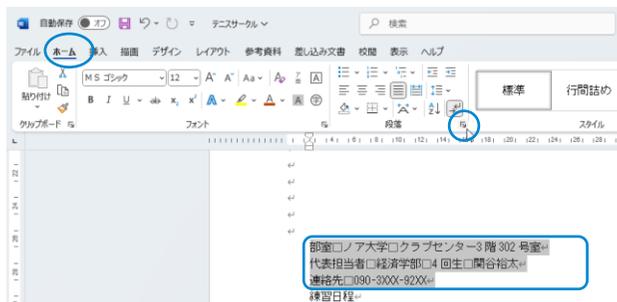
## 8) タブ

箇条書きなど各項目の先頭位置を揃えたい場合には、タブを使います。[スペース]キーを使って位置を揃えると、左に位置する文字の追加や削除などで項目の位置がずれます。タブを設定し、[Tab]キーを押すと、以降の文字列がタブの種類に合わせて配置され、項目の位置がずれません。

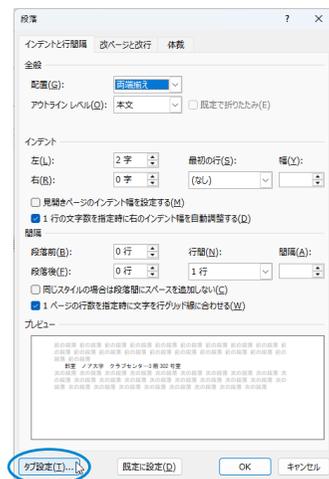
タブの種類	機能
左揃えタブ	文字列の左をタブの位置に揃える
中央揃えタブ	文字列の中央をタブの位置に揃える
右揃えタブ	文字列の右をタブの位置に揃える
小数点揃えタブ	数字の小数点位置をタブの位置に揃える
縦線タブ	タブ位置に縦線を表示する

「部室」、「代表担当者」、「連絡先」の内容が10文字目から始まるように左揃えタブを設定しましょう。

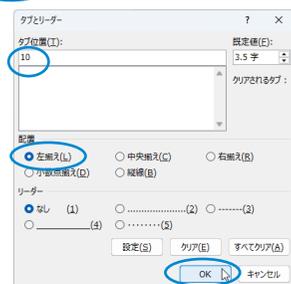
- ① 22行目から24行目を範囲指定して、[ホーム]タブの[段落]の (段落の設定) をクリックする



- ② [段落]ダイアログボックスが表示されるので、[タブ設定(T)]をクリックする



- ③ [タブとリーダー]ダイアログボックスが表示されるので、[タブ位置(T)]に「10」と入力し、[配置]から“左揃え(L)”が選ばれていることを確認して、[OK]をクリックする



- ④22行目の「部室」の右の空白を範囲指定して、[Tab] キーを押す  
※ルーラーにL（左揃えタブ）が表示されます。

- ⑤空白が削除されて → (タブ記号)が表示され、以降の文字列が「10」字の位置に揃う

- ⑥同様に、23行目の「代表担当者」の右の空白を範囲指定して、[Tab] キー、24行目の「連絡先」の右の空白を範囲指定して、[Tab] キーを押す



### 📖 ワンポイント! 📖

#### ★タブを削除する方法は？

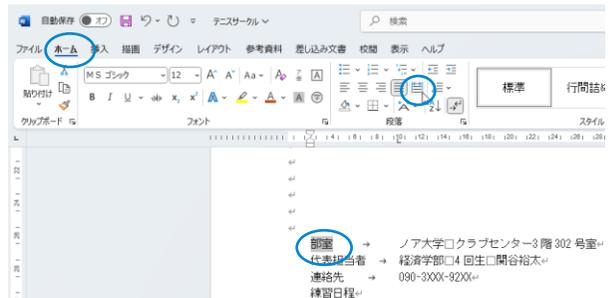
以下のいずれかの方法で操作します。

- ・【タブとリーダー】ダイアログボックスの〔クリア(E)〕をクリックして、〔OK〕をクリックする
- ・ルーラー上のタブをポイントして、ルーラーの外にドラッグする

## 9) 均等割り付け

指定した文字数に等間隔で文字列を配置することを、均等割り付けと呼びます。  
箇条書きの項目を、文字数が一番多い「代表担当者」に合わせて均等割り付けしましょう。

- ①22行目の「部室」を範囲指定して、[ホーム] タブの (均等割り付け) をクリックする



- ②【文字の均等割り付け】ダイアログボックスが表示されるので、[新しい文字列の幅(T)] の をクリックして「5字」を選び、〔OK〕をクリックする

※ を使わず、[新しい文字列の幅(T)] に「5」と入力してもかまいません。

- ③同様に、24行目の「連絡先」、25行目の「練習日程」を5字に割り付ける



### (3) 円グラフの作成

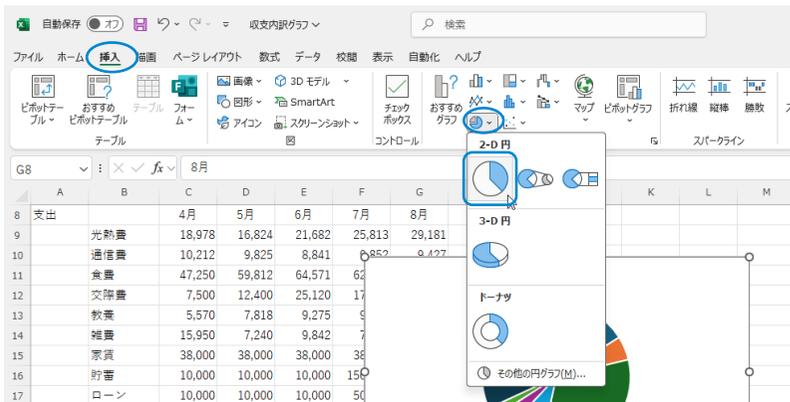
#### 1) 円グラフの作成

円グラフは、構成比率を見るのに適したグラフです。

8月の支出の各項目の構成比率が分かる円グラフを作成しましょう。

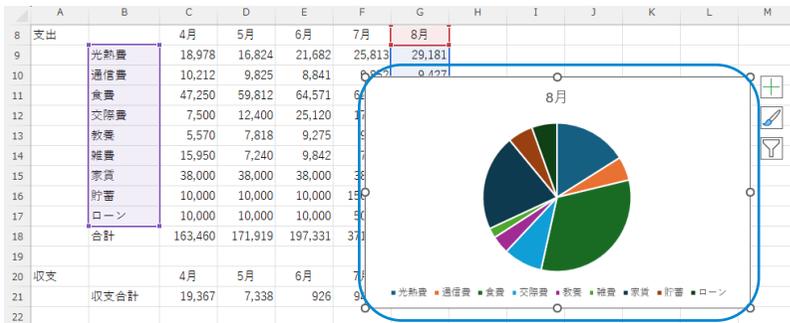
- ① B8 から B17 と G8 から G17 を範囲指定し、[挿入] タブの (円またはドーナツグラフの挿入) をクリックして、[2-D 円] の“円”を選ぶ

※ポイントするだけでグラフは表示されますが、クリックするまでは設定されません。

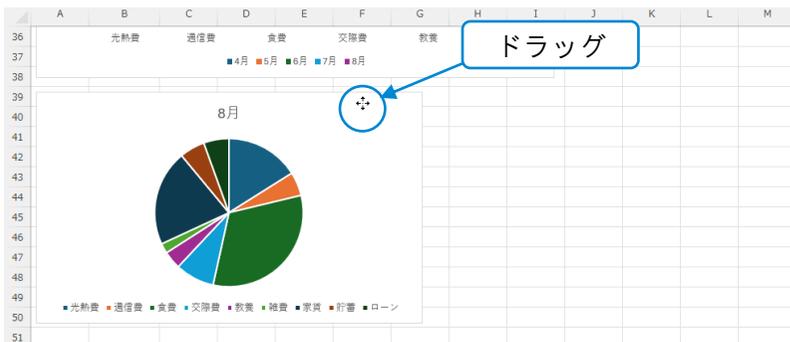


- ② 円グラフが作成される

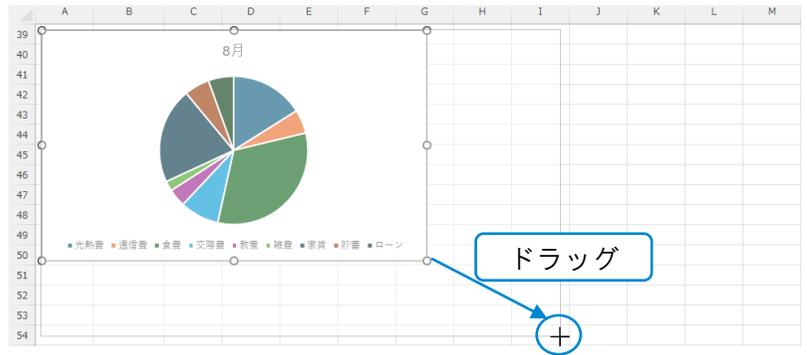
※今回作成したグラフは並べ替えていませんが数値の降順で並べ替えてから円グラフを作成するのが一般的です。



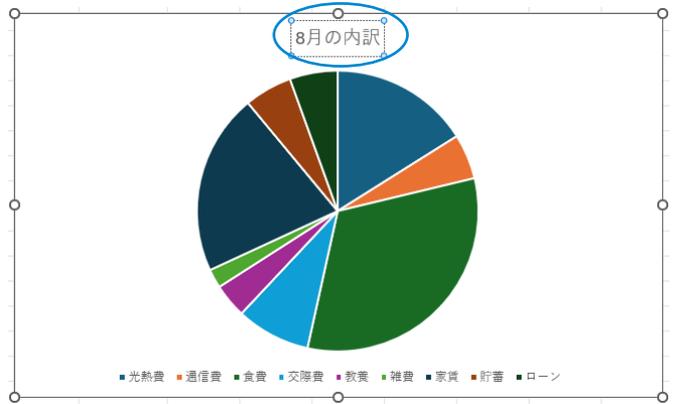
- ③ 円グラフの“グラフエリア”をポイントしてドラッグし、縦棒グラフの下に移動する



- ④ **サイズ変更ハンドル**をドラッグし、**A39からI54**の範囲に収まるように、**グラフのサイズ**を変更する



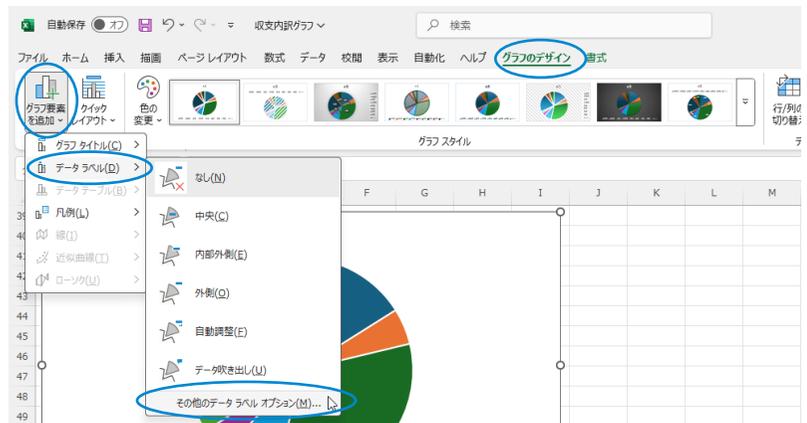
- ⑤ **グラフタイトル**を、「**8月の内訳**」にする



## 2) 円グラフの編集

### ◆ データラベルの追加

- ① **円グラフ**が選ばれていることを確認し、**[グラフのデザイン]** タブの **グラフ要素の追加** アイコンをクリックして、**<データラベル(D)>** - **<その他のデータラベルオプション(M)>** を選ぶ



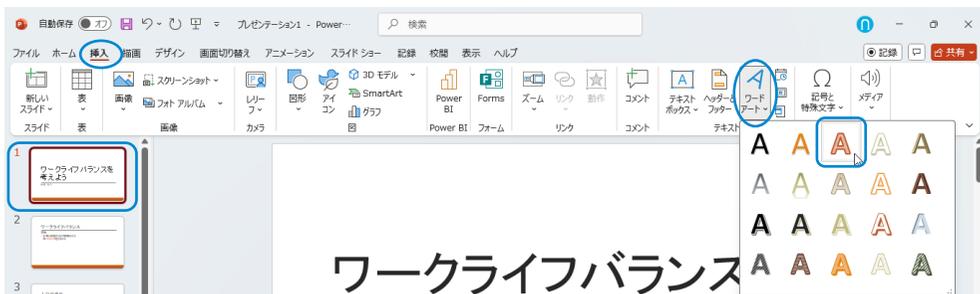
## (8) ワードアート

ワードアートにはさまざまな文字のデザインが用意されています。デザインされた文字はスライドの見栄えをよくしますが、意味もなく多用するとプレゼンテーション全体のバランスを崩し、下品になったり、より重要な内容がぼやけたりします。ワードアートを利用するときは、全体のバランスを考え、スライドのタイトルや重要なキーワード（新商品のコンセプトや催しのスローガンなど）のみに使い、多用しすぎないようにしましょう。

1枚目のスライドのタイトルを、ワードアートに変更しましょう。

### 1) ワードアートの挿入

- ① 1枚目のスライドを表示し、[挿入] タブの  (ワードアートの挿入) をクリックして、「塗りつぶし: オレンジ、アクセント カラー 2; 輪郭: オレンジ、アクセント カラー 2」を選ぶ



- ② ワードアート「ここに文字を入力」が表示されるので、「ワークライフバランスを考えよう」と入力する



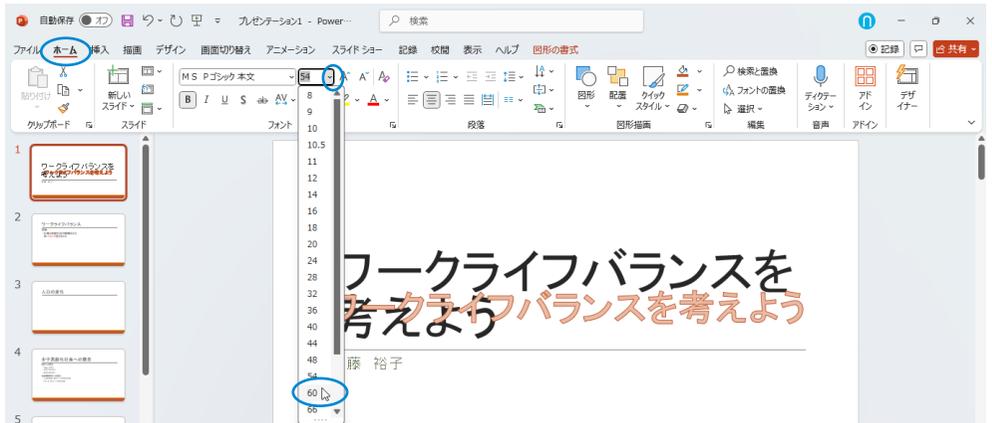
### 2) ワードアートの編集

#### ◆ フォントサイズの変更

- ① **ワードアートの外枠** をクリックして、ワードアート全体を選ぶ

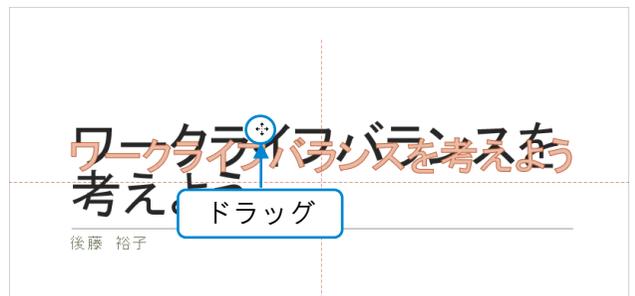


- ② **[ホーム]** タブの **54** (フォントサイズ) の **]** をクリックして、**“60”** を選ぶ  
 ※ポイントしたフォントサイズで表示されますが、クリックするまでは設定されません。

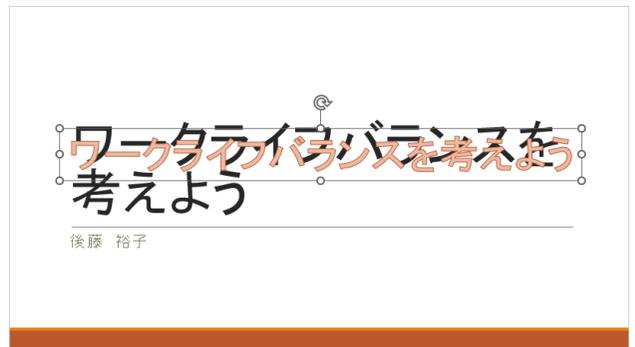


### ◆ワードアートの移動

- ① **ワードアートの外枠** をポイントし、マウスポインタを  の形にして、**上にドラッグ** する

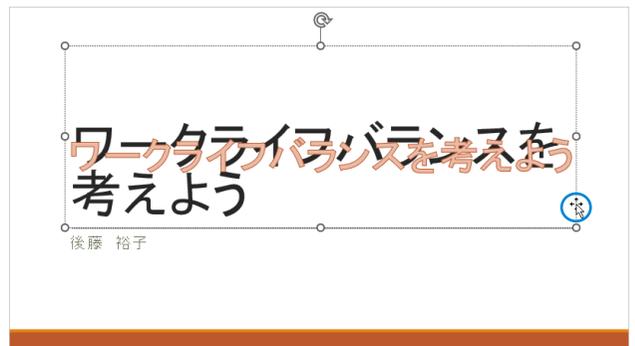


- ② ワードアートが移動する



### 3) プレースホルダーの削除

- ① **タイトル用プレースホルダーの外枠** を選ぶ  
 ※プレースホルダー全体を選びましょう。
- ② **[Delete]** キーを押す



## STEP3 AI 社会の情報モラルを学びましょう

## Lesson1 AI モラル 心がまえを学びましょう

AIをはじめ、技術の進歩は私たちの生活を飛躍的に便利にしてくれます。一方で、使い方を間違えると大きな被害を与えることになりかねない側面も持ち合わせています。

AIを安全に効果的に活用するための、基本となる考え方を理解しましょう。

## (1) 基本理念 FAT

AIの社会実装の際に、**FAT** (Fairness, Accountability and Transparency) というキーワードが国際的に重要視されています。

- ・ Fairness (公平性)  
人種や性別など公平性に配慮したシステムに関する研究
- ・ Accountability (説明責任)  
AIによる意思決定とその結果に対する説明責任に関する研究
- ・ Transparency (透明性)  
AI開発や利活用に関する透明性の研究



## (2) ELSI

**ELSI** (Ethical, Legal and Social Issue) とは、倫理や法律、および社会的課題を考慮すべきだという考え方です。もともとは、ヒトゲノム計画「人間の遺伝情報の全てを解読する研究計画」の際に登場した概念ですが、AIやデータ

サイエンスの分野でも重要な考え方となっています。技術的に可能であったとしても、作っても問題がないのか、世に生み出しても大丈夫なのか、人間が考慮しなければなりません。新しい科学技術が世の中に活用されるためには、倫理的、法的、社会的に問題がないか、すべての課題を解決する必要があるということです。

<b>Ethical</b>	倫理的
<b>Legal</b>	法的
<b>Social Issues</b>	社会的課題

## (3) 責任ある AI

AIの利活用により大きな事故や損害にあたる行為を招いた場合、機械であるAI自体が責任をとることはできません。必然的にAIの開発者および利用者が責任を負う可能性がありますが、責任の所在が明確ではありません。**責任あるAI**とは、AIの開発・運用において倫理的・安全性・公平性を重視し、社会に対して責任を持って取り組む姿勢や原則のことです。AIに関する法制度の整備が求められており、2025年9月に「人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律」が施行されました。

ディープラーニングなどの高度な計算処理の中では、「なぜそのような結果を出力したのか」の内部理解をすることは難しいとされています。しかし、AIの予測、判断の過程や理由が分からなければ、安心して社会で運用していくことができません。そのため、AIの社会実装が進む中、公平性、透明性が問題視されており、説明可能なAI (XAI: Explainable AI) が求められています。

### 📖 ワンポイント! 📖

#### ★AIとは？

AIは「Artificial Intelligence：人工知能」の略称で、人間のような知性や知的ふるまいの一部をプログラムされた機械、あるいはそれらを作る科学技術のことです。

#### ★IoTとは？

IoTは「Internet of Things：モノのインターネット」の略称で、パソコンなどの情報通信機器だけでなくさまざまなモノ（物）に通信機能を持たせ、インターネットに接続、または、相互に通信することによって制御、遠隔操作などを行うことです。

#### ★ビッグデータとは？

大量のデータという意味にとどまらず、その収集頻度や種類の多さから、業務用のパソコンや表計算ソフトといった従来のシステムでは取り扱いが難しいほど複雑で巨大なデータのことで、IoTにより低コストでさまざまなデータを集めることが可能になり、AIの技術の進歩でビッグデータの解析や分析が可能になっています。

#### ★トロッコ問題とは？

トロッコ問題とは、思考実験の1つです。暴走するトロッコから人の命を守るために、どのような行動が最善かを問う設問です。自動運転の実用化で注目されています。

#### ★ハルシネーションとは？

幻覚（hallucination）の意味で、特に対話型生成AIが、事実とは異なる不正確な内容を回答する現象のことをいいます。

## （４）バイアス

**バイアス**とは、「偏り」を意味する単語です。人間は、正しくない情報でも一定の条件下で好ましく感じてしまう脳の認知機能があるため、都合の良い結論を導くデータや方法を選ぶ可能性があります。そのような結果にはバイアスが伴う危険性があります。

例えば、学習データの数が少なかったり、限られた環境下のデータであったりする場合には、AIが誤った特徴を抽出してしまうことがあります。また、性別、人種、国籍などの社会の差別構造が、無意識のうちにデータの公正さを欠いていることもあります。さらに、AIを活用する際の設計や実装、運用などの各段階でバイアスが生まれ、さらに増幅する可能性があります。

これらを防ぐには、まず、個人の思い込みを減らすことが必要です。一人でデータ収集方法や結果の提供方法などを検討・対応すると、バイアスが生じやすい状況になります。

また、AIは常に学習するため、出力される情報は変化していきます。そして、これまでに以上に人間が発信した情報とAIが出力した情報は混在していきます。データの収集対象や範囲等をよく確認しなくてはなりません。バイアスの影響が懸念されるデータは消去・置換えることも有用でしょう。

AIは常に客観的で正しい、という思い込みは誤った判断を招きかねません。

